

ダイワ先進国リートα

為替ヘッジあり（毎月分配型）

為替ヘッジなし（毎月分配型）

運用報告書（全体版）

第84期（決算日 2019年7月16日）

第85期（決算日 2019年8月13日）

第86期（決算日 2019年9月13日）

第87期（決算日 2019年10月15日）

第88期（決算日 2019年11月13日）

第89期（決算日 2019年12月13日）

（作成対象期間 2019年6月14日～2019年12月13日）

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／不動産投信（リート）	
信託期間	約10年間（2012年6月27日～2022年6月13日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	為替ヘッジあり （毎月分配型）	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）II グローバル・リートα・ファンド（円ヘッジクラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
	為替ヘッジなし （毎月分配型）	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）II グローバル・リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。また、第1計算期末には、収益の分配は行ないません。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、リート（不動産投資信託）への投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5733>

<5734>

為替ヘッジあり (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S&P先進国REIT指数 (現地通貨建て)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
60期末(2017年7月13日)	円 6,566	円 80	% △2.2	16,820	% △2.6	% -	% 98.3	百万円 8,199
61期末(2017年8月14日)	6,535	80	0.7	16,931	0.7	0.0	98.6	8,044
62期末(2017年9月13日)	6,570	80	1.8	17,345	2.4	-	98.5	7,792
63期末(2017年10月13日)	6,483	80	△0.1	17,423	0.4	-	98.7	7,543
64期末(2017年11月13日)	6,449	80	0.7	17,559	0.8	-	97.8	7,494
65期末(2017年12月13日)	6,381	80	0.2	17,710	0.9	-	98.7	7,285
66期末(2018年1月15日)	6,115	80	△2.9	17,071	△3.6	-	98.8	6,763
67期末(2018年2月13日)	5,757	80	△4.5	16,178	△5.2	-	98.7	6,276
68期末(2018年3月13日)	5,780	80	1.8	16,562	2.4	-	98.8	6,147
69期末(2018年4月13日)	5,680	80	△0.3	16,509	△0.3	-	99.0	5,928
70期末(2018年5月14日)	5,767	80	2.9	17,388	5.3	-	98.3	5,868
71期末(2018年6月13日)	5,718	80	0.5	17,739	2.0	-	99.0	5,717
72期末(2018年7月13日)	5,670	80	0.6	18,232	2.8	-	98.3	5,554
73期末(2018年8月13日)	5,580	80	△0.2	18,155	△0.4	-	98.5	5,412
74期末(2018年9月13日)	5,512	80	0.2	18,425	1.5	-	98.6	5,170
75期末(2018年10月15日)	5,174	80	△4.7	17,258	△6.3	-	98.4	4,727
76期末(2018年11月13日)	5,290	80	3.8	18,158	5.2	-	98.5	4,863
77期末(2018年12月13日)	5,235	80	0.5	18,086	△0.4	-	99.2	4,613
78期末(2019年1月15日)	5,096	80	△1.1	17,829	△1.4	-	98.4	4,299
79期末(2019年2月13日)	5,157	80	2.8	19,054	6.9	-	98.0	4,228
80期末(2019年3月13日)	5,104	80	0.5	19,318	1.4	0.0	98.5	4,153
81期末(2019年4月15日)	5,105	50	1.0	19,863	2.8	-	98.7	4,088
82期末(2019年5月13日)	5,042	50	△0.3	19,683	△0.9	-	98.6	4,015
83期末(2019年6月13日)	5,059	50	1.3	20,084	2.0	-	98.8	3,881
84期末(2019年7月16日)	5,044	50	0.7	20,415	1.6	-	98.7	3,737
85期末(2019年8月13日)	4,993	50	△0.0	20,386	△0.1	-	99.1	3,603
86期末(2019年9月13日)	4,992	50	1.0	20,971	2.9	-	98.5	3,503
87期末(2019年10月15日)	5,006	50	1.3	21,434	2.2	-	98.7	3,461
88期末(2019年11月13日)	4,820	50	△2.7	20,998	△2.0	-	98.3	3,303
89期末(2019年12月13日)	4,741	50	△0.6	20,883	△0.5	-	98.4	3,135

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P先進国REIT指数(現地通貨建て)は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P先進国REIT指数(現地通貨建て)の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

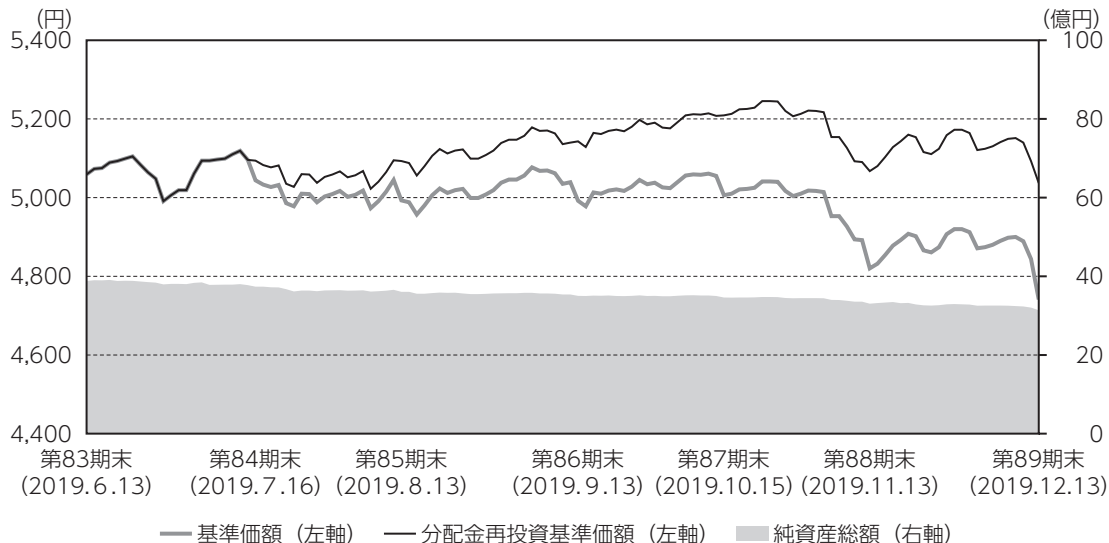
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第84期首：5,059円

第89期末：4,741円 (既払分配金300円)

騰落率：△0.4% (分配金再投資ベース)

■ 基準価額の変動要因

リートα・ファンド (円ヘッジクラス) の上昇はプラスに寄与しましたが、運用管理費用などがマイナス要因となり、基準価額は小幅に下落しました。リートα・ファンド (円ヘッジクラス) については、先進国のリートへの投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、先進国リートが上昇したことがプラスに寄与し、上昇しました。オプション取引は、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※リートα・ファンド (円ヘッジクラス)：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト (ケイマン) II グローバル・リートα・ファンド (円ヘッジクラス)

ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P先進国REIT指数 (現地通貨建て)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第84期	(期首) 2019年6月13日	円 5,059	% -	20,084	% -	% -	% 98.8
	6月末	5,006	△1.0	19,870	△1.1	-	98.5
	(期末) 2019年7月16日	5,094	0.7	20,415	1.6	-	98.7
第85期	(期首) 2019年7月16日	5,044	-	20,415	-	-	98.7
	7月末	5,017	△0.5	20,365	△0.2	-	98.5
	(期末) 2019年8月13日	5,043	△0.0	20,386	△0.1	-	99.1
第86期	(期首) 2019年8月13日	4,993	-	20,386	-	-	99.1
	8月末	5,038	0.9	20,745	1.8	-	99.4
	(期末) 2019年9月13日	5,042	1.0	20,971	2.9	-	98.5
第87期	(期首) 2019年9月13日	4,992	-	20,971	-	-	98.5
	9月末	5,034	0.8	21,368	1.9	-	99.4
	(期末) 2019年10月15日	5,056	1.3	21,434	2.2	-	98.7
第88期	(期首) 2019年10月15日	5,006	-	21,434	-	-	98.7
	10月末	5,018	0.2	21,804	1.7	-	99.5
	(期末) 2019年11月13日	4,870	△2.7	20,998	△2.0	-	98.3
第89期	(期首) 2019年11月13日	4,820	-	20,998	-	-	98.3
	11月末	4,920	2.1	21,668	3.2	-	98.8
	(期末) 2019年12月13日	4,791	△0.6	20,883	△0.5	-	98.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019.6.14~2019.12.13)

■先進国リート市況

先進国リート市況は上昇しました。

当作成期の金融市場は、米中貿易摩擦や英国のEU（欧州連合）離脱をめぐる不透明感、世界経済の成長への不安などを背景に、不安定な展開となりました。

先進国リート市況は、当作成期首から2019年10月にかけて、主要各国における金利低下の恩恵を受けておおむね上昇基調で推移しました。11月から当作成期末にかけては、米中通商協議における合意期待や製造業における業況安定化の兆しなどからリスク選好の相場となり、株式市場は上昇しましたが長期金利が上昇したことから、先進国リート市況は軟調となりました。

国別の現地通貨建ての騰落率を見ると、日本や英国、ドイツなどが堅調だった一方で、香港などが振るいませんでした。現地通貨建てのセクター別では、産業施設や各種不動産、住宅などが堅調だった一方で、貸倉庫や商業施設などが低調でした。

■短期金利市況

日本では、日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続し、短期金利は低位で推移しました。一方、FRB（米国連邦準備制度理事会）は、政策金利の誘導目標レンジを合計0.75%ポイント引き下げ、1.50~1.75%としました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■リートα・ファンド（円ヘッジクラス）

世界的に製造業には減速が見られますが、先進国の経済成長率は引き続き好調です。消費需要は力強い労働市場に支えられており、労働市場はサービスセクターがけん引しています。米中貿易摩擦に関しては、当初の予想よりも遅くなりますが、いずれは合意に達する可能性が高いと考えています。FRB（米国連邦準備制度理事会）は忍耐強い金融政策というガイダンスを据え置いています。リートにとって追い風となっています。債券利回り対比でのリートの魅力的な配当利回りなどを背景に、リートのパフォーマンスは底堅いものとみています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプション（買う権利）を売却することでカバードコール戦略を構築します。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019.6.14~2019.12.13)

■当ファンド

リートα・ファンド (円ヘッジクラス) とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資しました。また、リートα・ファンド (円ヘッジクラス) への投資割合を高位に維持しました。

■リートα・ファンド (円ヘッジクラス)

安定的な配当が見込め、下値抵抗がある相対的に割安な銘柄を選定し、リーートのバリュエーションやオプション取引価格等を考慮して、リートポートフォリオを構築しました。現物リートポートフォリオ部分については、セクター別で見ると、産業施設や特殊用途施設などをオーバーウエートとし、商業施設やオフィスなどをアンダーウエートとしました。国別で見ると、堅調なファンダメンタルズと安定した配当利回りの見通しを背景に米国やシンガポール、カナダなどをおおむねオーバーウエートで推移させ、英国やオランダ、香港などをおおむねアンダーウエートで推移させました。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

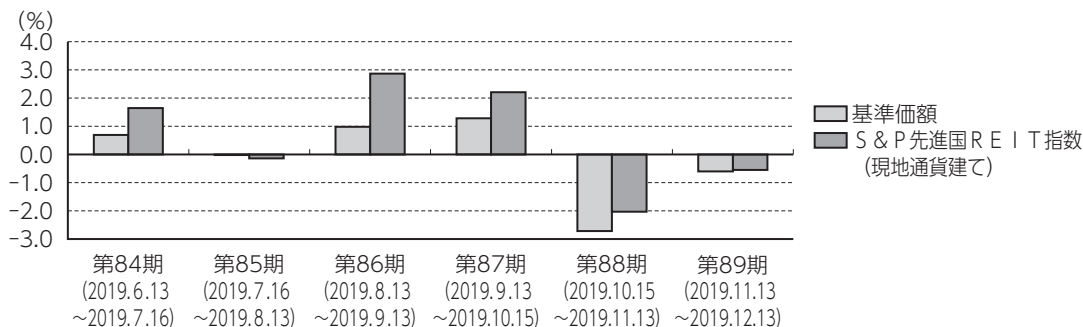
■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
	2019年6月14日 ～2019年7月16日	2019年7月17日 ～2019年8月13日	2019年8月14日 ～2019年9月13日	2019年9月14日 ～2019年10月15日	2019年10月16日 ～2019年11月13日	2019年11月14日 ～2019年12月13日
当期分配金（税込み）（円）	50	50	50	50	50	50
対基準価額比率（%）	0.98	0.99	0.99	0.99	1.03	1.04
当期の収益（円）	42	42	38	45	41	41
当期の収益以外（円）	7	7	11	4	8	8
翌期繰越分配対象額（円）	885	877	866	861	853	845

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 42.20円	✓ 42.53円	✓ 38.89円	✓ 45.31円	✓ 41.66円	✓ 41.42円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	752.39	753.17	753.45	753.66	753.86	754.09
(d) 分配準備積立金	✓ 140.55	✓ 132.02	✓ 124.27	✓ 112.96	✓ 108.07	✓ 99.51
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	935.15	927.73	916.62	911.93	903.60	895.02
(f) 分配金	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	885.15	877.73	866.62	861.93	853.60	845.02

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■リートα・ファンド（円ヘッジクラス）

世界経済には、さらなる成長余地があるとみています。背景として、F R B（米国連邦準備制度理事会）をはじめとする各国中央銀行による金融政策による下支えや、米中の通商協議の第一段階への原則合意、世界の鉱工業生産の安定化の兆候などが挙げられます。低い債券利回りと、緩やかながらも堅調に推移している経済成長が、米国をはじめとした先進国のリート市場にとって好環境となっています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第84期～第89期 (2019.6.14～2019.12.13)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	33円	0.667%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は5,000円です。
(投 信 会 社)	(11)	(0.217)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(22)	(0.435)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	34	0.671	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

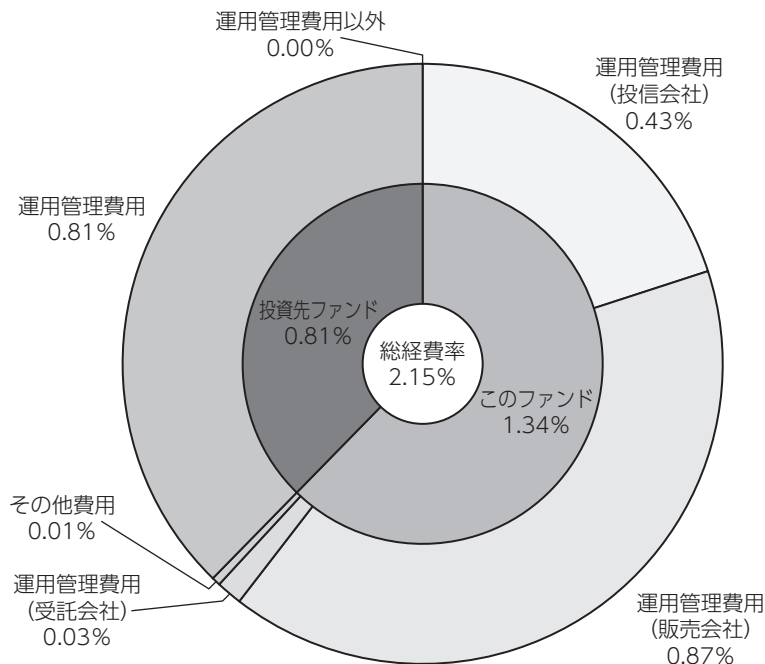
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.15%です。



総経費率 (①+②+③)	2.15%
①このファンドの費用の比率	1.34%
②投資先ファンドの運用管理費用	0.81%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

(注8) 投資ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2019年6月14日から2019年12月13日まで)

決算期	第 84 期 ~ 第 89 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国 (邦貨建)	4,242.04598	200,608	16,219.22999	767,683

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2019年6月14日から2019年12月13日まで)

第 84 期				第 89 期			
買 付		売 付		買 付		売 付	
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				GLOBAL REIT ALPHA FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	16,219.22999	767,683	47

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 89 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) GLOBAL REIT ALPHA FUND JPY HEDGED CLASS	千口	千円	%
	67,702.97822	3,085,089	98.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第83期末	第 89 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	399	399	399

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年12月13日現在

項 目	第 89 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 3,085,089	% 97.1
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	399	0.0
コール・ローン等、その他	90,135	2.9
投資信託財産総額	3,175,624	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年7月16日)、(2019年8月13日)、(2019年9月13日)、(2019年10月15日)、(2019年11月13日)、(2019年12月13日)現在

項 目	第 84 期 末	第 85 期 末	第 86 期 末	第 87 期 末	第 88 期 末	第 89 期 末
(A) 資産	3,787,102,201円	3,667,705,034円	3,547,353,350円	3,514,521,360円	3,342,712,953円	3,175,624,313円
コール・ローン等	98,532,743	97,341,025	97,602,033	96,210,678	93,836,723	90,135,321
投資信託受益証券(評価額)	3,688,169,697	3,569,964,248	3,449,351,596	3,417,910,961	3,248,476,549	3,085,089,311
ダイワ・マネーストック・マザーファンド(評価額)	399,761	399,761	399,721	399,721	399,681	399,681
(B) 負債	49,361,933	63,728,873	43,803,700	52,724,686	39,057,333	39,961,008
未払収益分配金	37,048,593	36,093,028	35,090,372	34,577,852	34,272,211	33,068,791
未払解約金	7,693,902	23,867,545	4,624,559	13,938,644	975,400	3,108,672
未払信託報酬	4,590,087	3,715,883	4,012,261	4,106,466	3,685,256	3,636,787
その他未払費用	29,351	52,417	76,508	101,724	124,466	146,758
(C) 純資産総額(A - B)	3,737,740,268	3,603,976,161	3,503,549,650	3,461,796,674	3,303,655,620	3,135,663,305
元本	7,409,718,783	7,218,605,799	7,018,074,453	6,915,570,483	6,854,442,246	6,613,758,225
次期繰越損益金	△3,671,978,515	△3,614,629,638	△3,514,524,803	△3,453,773,809	△3,550,786,626	△3,478,094,920
(D) 受益権総口数	7,409,718,783口	7,218,605,799口	7,018,074,453口	6,915,570,483口	6,854,442,246口	6,613,758,225口
1万口当り基準価額(C/D)	5,044円	4,993円	4,992円	5,006円	4,820円	4,741円

* 第83期末における元本額は7,673,086,167円、当作成期間(第84期~第89期)中における追加設定元本額は124,305,164円、同解約元本額は1,183,633,106円です。

* 第89期末の計算口数当りの純資産額は4,741円です。

* 第89期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,478,094,920円です。

■損益の状況

第84期 自2019年6月14日 至2019年7月16日 第87期 自2019年9月14日 至2019年10月15日
 第85期 自2019年7月17日 至2019年8月13日 第88期 自2019年10月16日 至2019年11月13日
 第86期 自2019年8月14日 至2019年9月13日 第89期 自2019年11月14日 至2019年12月13日

項 目	第 84 期	第 85 期	第 86 期	第 87 期	第 88 期	第 89 期
(A) 配当等収益	35,893,528円	34,441,525円	30,465,149円	34,279,535円	32,264,744円	31,055,378円
受取配当金	35,896,902	34,445,199	30,468,245	34,282,267	32,265,818	31,057,544
受取利息	7	14	9	61	12	93
支払利息	△ 3,381	△ 3,688	△ 3,105	△ 2,793	△ 1,086	△ 2,259
(B) 有価証券売買損益	△ 5,281,490	△ 31,837,143	8,352,737	13,846,084	△ 121,826,379	△ 46,319,520
売買益	476,111	1,081,345	8,539,881	13,844,210	153,984	1,463,683
売買損	△ 5,757,601	△ 32,918,488	△ 187,144	1,874	△ 121,980,363	△ 47,783,203
(C) 信託報酬等	△ 4,619,438	△ 3,738,949	△ 4,037,210	△ 4,131,730	△ 3,707,998	△ 3,659,079
(D) 当期損益金(A + B + C)	25,992,600	△ 1,134,567	34,780,676	43,993,889	△ 93,269,633	△ 18,923,221
(E) 前期繰越損益金	△2,986,558,808	△2,904,121,153	△2,853,298,344	△2,806,619,685	△2,767,519,671	△2,786,966,255
(F) 追加信託差損益金	△ 674,363,714	△ 673,280,890	△ 660,916,763	△ 656,570,161	△ 655,725,111	△ 639,136,653
(配当等相当額)	(557,502,464)	(543,687,943)	(528,778,412)	(521,203,275)	(516,729,050)	(498,738,034)
(売買損益相当額)	(△1,231,866,178)	(△1,216,968,833)	(△1,189,695,175)	(△1,177,773,436)	(△1,172,454,161)	(△1,137,874,687)
(G) 合計(D + E + F)	△3,634,929,922	△3,578,536,610	△3,479,434,431	△3,419,195,957	△3,516,514,415	△3,445,026,129
(H) 収益分配金	△ 37,048,593	△ 36,093,028	△ 35,090,372	△ 34,577,852	△ 34,272,211	△ 33,068,791
次期繰越損益金(G + H)	△3,671,978,515	△3,614,629,638	△3,514,524,803	△3,453,773,809	△3,550,786,626	△3,478,094,920
追加信託差損益金	△ 674,363,714	△ 673,280,890	△ 660,916,763	△ 656,570,161	△ 655,725,111	△ 639,136,653
(配当等相当額)	(557,502,464)	(543,687,943)	(528,778,412)	(521,203,275)	(516,729,050)	(498,738,034)
(売買損益相当額)	(△1,231,866,178)	(△1,216,968,833)	(△1,189,695,175)	(△1,177,773,436)	(△1,172,454,161)	(△1,137,874,687)
分配準備積立金	98,370,331	89,911,758	79,426,574	74,877,346	68,367,270	60,142,090
繰越損益金	△3,095,985,132	△3,031,260,506	△2,933,034,614	△2,872,080,994	△2,963,428,785	△2,899,100,357

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第 84 期	第 85 期	第 86 期	第 87 期	第 88 期	第 89 期
(a) 経費控除後の配当等収益	31,274,067円	30,702,560円	27,296,730円	31,336,487円	28,556,737円	27,396,290円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	557,502,464	543,687,943	528,778,412	521,203,275	516,729,050	498,738,034
(d) 分配準備積立金	104,144,857	95,302,226	87,220,216	78,118,711	74,082,744	65,814,591
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	692,921,388	669,692,729	643,295,358	630,658,473	619,368,531	591,948,915
(f) 分配金	37,048,593	36,093,028	35,090,372	34,577,852	34,272,211	33,068,791
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	655,872,795	633,599,701	608,204,986	596,080,621	585,096,320	558,880,124
(h) 受益権総口数	7,409,718,783口	7,218,605,799口	7,018,074,453口	6,915,570,483口	6,854,442,246口	6,613,758,225口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 84 期	第 85 期	第 86 期	第 87 期	第 88 期	第 89 期
1 万 口 当 り 分 配 金	50円	50円	50円	50円	50円	50円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

為替ヘッジなし (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S&P先進国REIT指数 (円建て)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
60期末(2017年7月13日)	7,970	150	1.1	22,302	0.5	—	98.1	5,007
61期末(2017年8月14日)	7,691	150	△1.6	21,838	△2.1	0.0	98.2	4,864
62期末(2017年9月13日)	7,767	150	2.9	22,622	3.6	—	98.4	4,830
63期末(2017年10月13日)	7,747	150	1.7	23,096	2.1	—	97.8	4,793
64期末(2017年11月13日)	7,708	150	1.4	23,401	1.3	—	98.0	4,820
65期末(2017年12月13日)	7,617	150	0.8	23,664	1.1	—	98.9	4,730
66期末(2018年1月15日)	7,195	150	△3.6	22,560	△4.7	—	98.4	4,466
67期末(2018年2月13日)	6,574	150	△6.5	20,903	△7.3	—	98.1	4,034
68期末(2018年3月13日)	6,447	150	0.3	21,053	0.7	—	98.4	3,910
69期末(2018年4月13日)	6,390	100	0.7	21,135	0.4	—	97.9	3,866
70期末(2018年5月14日)	6,548	100	4.0	22,471	6.3	—	98.2	3,772
71期末(2018年6月13日)	6,534	100	1.3	23,070	2.7	—	98.4	3,745
72期末(2018年7月13日)	6,565	100	2.0	24,033	4.2	—	98.4	3,755
73期末(2018年8月13日)	6,353	100	△1.7	23,504	△2.2	—	96.7	3,045
74期末(2018年9月13日)	6,307	100	0.8	23,973	2.0	—	98.2	2,937
75期末(2018年10月15日)	5,969	100	△3.8	22,609	△5.7	—	98.1	2,759
76期末(2018年11月13日)	6,173	100	5.1	24,048	6.4	—	98.5	2,899
77期末(2018年12月13日)	6,115	70	0.2	23,855	△0.8	—	98.6	2,720
78期末(2019年1月15日)	5,781	70	△4.3	22,635	△5.1	—	98.2	2,607
79期末(2019年2月13日)	5,974	70	4.5	24,582	8.6	—	99.0	2,627
80期末(2019年3月13日)	5,986	70	1.4	25,110	2.1	0.0	99.0	2,575
81期末(2019年4月15日)	6,027	70	1.9	25,975	3.4	—	98.3	2,573
82期末(2019年5月13日)	5,825	70	△2.2	25,177	△3.1	—	98.5	2,423
83期末(2019年6月13日)	5,790	70	0.6	25,424	1.0	—	98.1	2,215
84期末(2019年7月16日)	5,759	70	0.7	25,743	1.3	—	98.2	2,211
85期末(2019年8月13日)	5,564	70	△2.2	24,997	△2.9	—	98.6	2,076
86期末(2019年9月13日)	5,670	70	3.2	26,313	5.3	—	98.6	2,063
87期末(2019年10月15日)	5,711	70	2.0	27,008	2.6	—	98.6	2,066
88期末(2019年11月13日)	5,528	70	△2.0	26,667	△1.3	—	98.5	1,989
89期末(2019年12月13日)	5,447	70	△0.2	26,616	△0.2	—	98.6	1,944

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P先進国REIT指数 (円建て) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P先進国REIT指数 (円建て) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

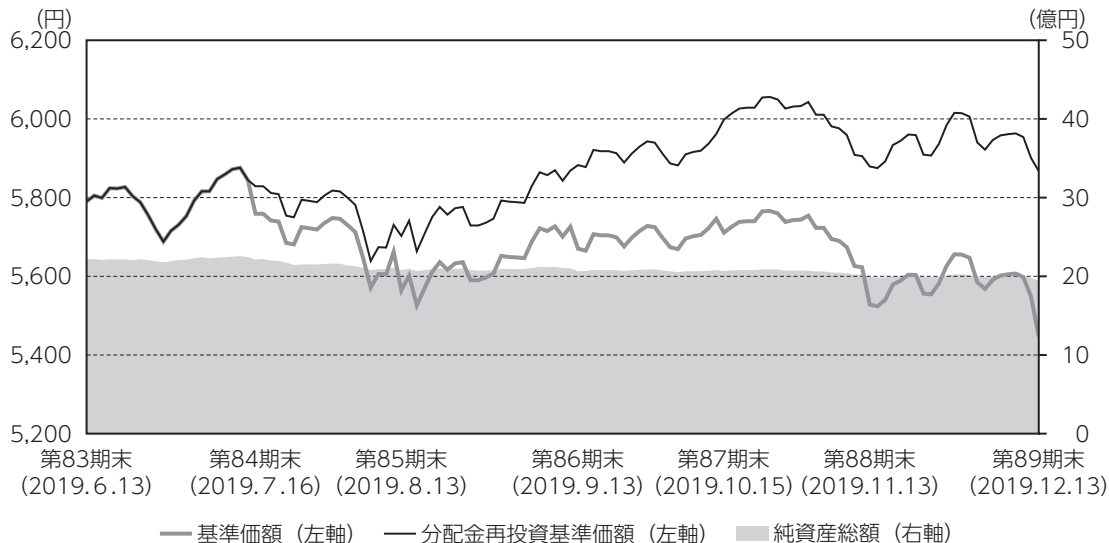
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第84期首：5,790円

第89期末：5,447円（既払分配金420円）

騰落率：1.3%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）の上昇が寄与し、基準価額は上昇しました。リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）については、先進国のリートへの投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、先進国リートが上昇したことや為替相場において円安が進んだことがプラスに寄与し、上昇しました。オプション取引は、マイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ-グローバル・リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）

ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P先進国REIT指数 (円 建 指数 (参考指数) 騰 落 率)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		円	%	騰 落 率	騰 落 率		
第84期	(期首) 2019年 6 月13日	5,790	—	25,424	—	—	98.1
	6 月末	5,716	△1.3	25,038	△1.5	—	98.0
	(期末) 2019年 7 月16日	5,829	0.7	25,743	1.3	—	98.2
第85期	(期首) 2019年 7 月16日	5,759	—	25,743	—	—	98.2
	7 月末	5,746	△0.2	25,721	△0.1	—	98.9
	(期末) 2019年 8 月13日	5,634	△2.2	24,997	△2.9	—	98.6
第86期	(期首) 2019年 8 月13日	5,564	—	24,997	—	—	98.6
	8 月末	5,652	1.6	25,662	2.7	—	99.4
	(期末) 2019年 9 月13日	5,740	3.2	26,313	5.3	—	98.6
第87期	(期首) 2019年 9 月13日	5,670	—	26,313	—	—	98.6
	9 月末	5,728	1.0	26,827	2.0	—	98.5
	(期末) 2019年10月15日	5,781	2.0	27,008	2.6	—	98.6
第88期	(期首) 2019年10月15日	5,711	—	27,008	—	—	98.6
	10月末	5,754	0.8	27,655	2.4	—	99.0
	(期末) 2019年11月13日	5,598	△2.0	26,667	△1.3	—	98.5
第89期	(期首) 2019年11月13日	5,528	—	26,667	—	—	98.5
	11月末	5,655	2.3	27,588	3.5	—	99.2
	(期末) 2019年12月13日	5,517	△0.2	26,616	△0.2	—	98.6

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019.6.14~2019.12.13)

■先進国リート市況

先進国リート市況は上昇しました。

当作成期の金融市場は、米中貿易摩擦や英国のEU（欧州連合）離脱をめぐる不透明感、世界経済の成長への不安などを背景に、不安定な展開となりました。

先進国リート市況は、当作成期首から2019年10月にかけて、主要各国における金利低下の恩恵を受けておおむね上昇基調で推移しました。11月から当作成期末にかけては、米中通商協議における合意期待や製造業における業況安定化の兆しなどからリスク選好の相場となり、株式市場は上昇しましたが長期金利が上昇したことから、先進国リート市況は軟調となりました。

国別の現地通貨建ての騰落率を見ると、日本や英国、ドイツなどが堅調だった一方で、香港などが振るいませんでした。現地通貨建てのセクター別では、産業施設や各種不動産、住宅などが堅調だった一方で、貸倉庫や商業施設などが低調でした。

■為替相場

対象通貨の為替相場は、米ドルの上昇などによりポートフォリオ全体としては対円で上昇しました。

米ドル円は、当作成期の前半は弱含みで推移し、2019年7月から8月にかけて、米中貿易摩擦激化への懸念が強まる中、下落しました。後半は、米中両国による閣僚級貿易協議の再開見通しが強まったことなどが好感されてリスク回避的な動きが弱まったほか、米国において雇用統計や非製造業景況感指数などの景気指標に改善が見られたことにより、おおむね上昇基調で推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■リートα・ファンド (ノンヘッジクラス)

世界的に製造業には減速が見られますが、先進国の経済成長率は引き続き好調です。消費需要は力強い労働市場に支えられており、労働市場はサービスセクターがけん引しています。米中貿易摩擦に関しては、当初の予想よりも遅くなりますが、いずれは合意に達する可能性が高いと考えています。F R B (米国連邦準備制度理事会) は忍耐強い金融政策というガイダンスを据え置いています。リートにとって追い風となっています。リーートの債券利回り対比での魅力的な配当利回りなどを背景に、リーートのパフォーマンスは底堅いものとみています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプション (買う権利) を売却することでカバードコール戦略を構築します。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2019.6.14~2019.12.13)

■当ファンド

リートα・ファンド (ノンヘッジクラス) とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資しました。また、リートα・ファンド (ノンヘッジクラス) への投資割合を高位に維持しました。

■リートα・ファンド (ノンヘッジクラス)

安定的な配当が見込め、下値抵抗がある相対的に割安な銘柄を選定し、リーートのバリュエーションやオプション取引価格等を考慮して、リートポートフォリオを構築しました。現物リートポートフォリオ部分については、セクター別で見ると、産業施設や特殊用途施設などをオーバーウエートとし、商業施設やオフィスなどをアンダーウエートとしました。国別で見ると、堅調なファンダメンタルズと安定した配当利回りの見通しを背景に米国やシンガポール、カナダなどをおおむねオーバーウエートで推移させ、英国やオランダ、香港などをおおむねアンダーウエートで推移させました。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。

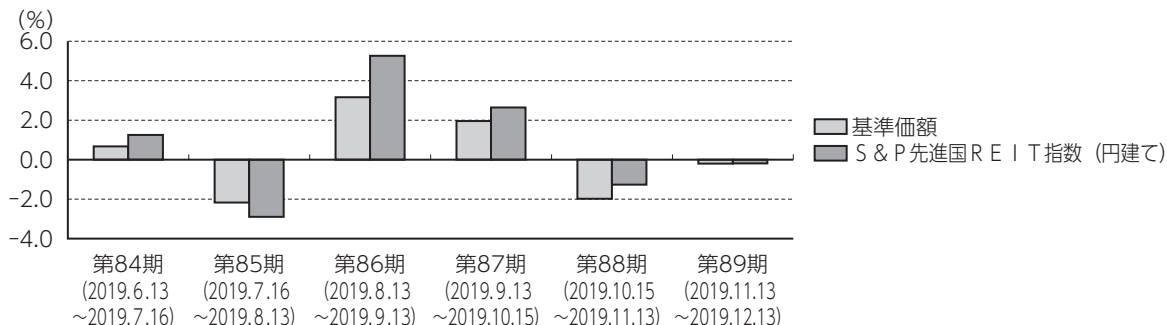
■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
	2019年6月14日 ～2019年7月16日	2019年7月17日 ～2019年8月13日	2019年8月14日 ～2019年9月13日	2019年9月14日 ～2019年10月15日	2019年10月16日 ～2019年11月13日	2019年11月14日 ～2019年12月13日
当期分配金（税込み）（円）	70	70	70	70	70	70
対基準価額比率（%）	1.20	1.24	1.22	1.21	1.25	1.27
当期の収益（円）	63	61	67	65	58	58
当期の収益以外（円）	6	8	2	4	11	11
翌期繰越分配対象額（円）	1,496	1,487	1,485	1,480	1,469	1,458

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売却等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 63.64円	✓ 61.32円	✓ 67.58円	✓ 65.47円	✓ 58.30円	✓ 58.95円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 1,502.86	✓ 1,496.55	✓ 1,487.88	✓ 1,485.47	✓ 1,481.00	✓ 1,469.33
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	1,566.51	1,557.87	1,555.47	1,550.94	1,539.31	1,528.28
(f) 分配金	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	1,496.51	1,487.87	1,485.47	1,480.94	1,469.31	1,458.28

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■リートα・ファンド（ノンヘッジクラス）

世界経済には、さらなる成長余地があるとみています。背景として、F R B（米国連邦準備制度理事会）をはじめとする各国中央銀行による金融政策による下支えや、米中の通商協議の第一段階への原則合意、世界の鉱工業生産の安定化の兆候などが挙げられます。低い債券利回りと、緩やかながらも堅調に推移している経済成長が、米国をはじめとした先進国のリート市場にとって好環境となっています。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債およびコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第84期～第89期 (2019.6.14～2019.12.13)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	38円	0.668%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は5,687円です。
（投 信 会 社）	(12)	(0.217)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(25)	(0.435)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(1)	(0.016)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	38	0.672	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

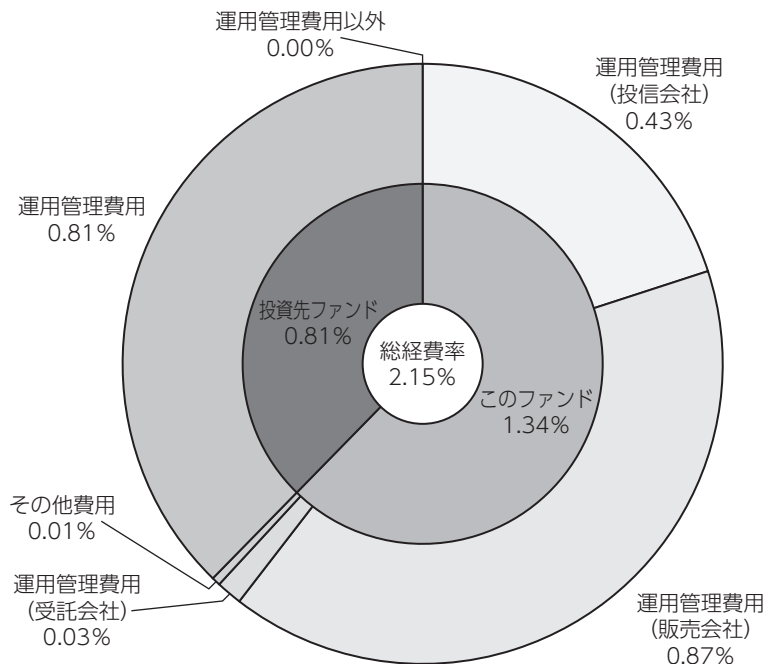
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.15%です。



総経費率 (①+②+③)	2.15%
①このファンドの費用の比率	1.34%
②投資先ファンドの運用管理費用	0.81%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

(注8) 投資ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2019年6月14日から2019年12月13日まで）

決算期	第 84 期 ～ 第 89 期			
	買 付		売 付	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	2,291.69907	150,487	4,564.83869	299,098

（注1）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注2）金額は受渡し代金。
（注3）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

（2019年6月14日から2019年12月13日まで）

第 84 期				～	第 89 期			
買 付		売 付		買 付		売 付		
銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	銘 柄	□ 数	金 額	平均単価	
	千口	千円	円		千口	千円	円	
				GLOBAL REIT ALPHA FUND NON HEDGED CLASS（ケイマン諸島）	4,564.83869	299,098	65	

（注1）金額は受渡し代金。
（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第 89 期 末		
	□ 数	評 価 額	比 率
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） GLOBAL REIT ALPHA FUND NON HEDGED CLASS	千口	千円	%
	29,938.38604	1,917,403	98.6

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注2）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	第83期末	第 89 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	99	99	99

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年12月13日現在

項 目	第 89 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 1,917,403	% 97.2
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	99	0.0
コール・ローン等、その他	54,618	2.8
投資信託財産総額	1,972,122	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年7月16日)、(2019年8月13日)、(2019年9月13日)、(2019年10月15日)、(2019年11月13日)、(2019年12月13日)現在

項目	第84期末	第85期末	第86期末	第87期末	第88期末	第89期末
(A) 資産	2,241,736,451円	2,105,542,032円	2,147,196,617円	2,094,718,780円	2,016,933,037円	1,972,122,114円
コール・ローン等	69,624,955	58,500,537	72,884,512	57,397,103	58,058,611	54,618,261
投資信託受益証券(評価額)	2,172,011,556	2,046,941,555	2,034,332,506	2,037,221,747	1,958,774,506	1,917,403,933
ダイワ・マネーストック・マザーファンド(評価額)	99,940	99,940	99,930	99,930	99,920	99,920
未収入金	-	-	39,879,669	-	-	-
(B) 負債	30,219,819	28,883,080	83,932,173	27,820,402	27,482,334	27,373,415
未払金	-	-	19,939,835	-	-	-
未払収益分配金	26,878,579	26,124,935	25,472,712	25,332,605	25,192,970	24,990,219
未払解約金	666,356	545,694	36,119,199	-	1,125	79,481
未払信託報酬	2,657,786	2,181,819	2,355,784	2,428,228	2,215,015	2,216,907
その他未払費用	17,098	30,632	44,643	59,569	73,224	86,808
(C) 純資産総額(A-B)	2,211,516,632	2,076,658,952	2,063,264,444	2,066,898,378	1,989,450,703	1,944,748,699
元本	3,839,797,059	3,732,133,581	3,638,958,884	3,618,943,668	3,598,995,830	3,570,031,426
次期繰越損益金	△1,628,280,427	△1,655,474,629	△1,575,694,440	△1,552,045,290	△1,609,545,127	△1,625,282,727
(D) 受益権総口数	3,839,797,059口	3,732,133,581口	3,638,958,884口	3,618,943,668口	3,598,995,830口	3,570,031,426口
1万口当り基準価額(C/D)	5,759円	5,564円	5,670円	5,711円	5,528円	5,447円

*第83期末における元本額は3,825,927,480円、当作成期間(第84期~第89期)中における追加設定元本額は162,399,878円、同解約元本額は418,295,932円です。

*第89期末の計算口数当りの純資産額は5,447円です。

*第89期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,625,282,727円です。

■損益の状況

第84期 自2019年6月14日 至2019年7月16日 第87期 自2019年9月14日 至2019年10月15日
 第85期 自2019年7月17日 至2019年8月13日 第88期 自2019年10月16日 至2019年11月13日
 第86期 自2019年8月14日 至2019年9月13日 第89期 自2019年11月14日 至2019年12月13日

項目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
(A) 配当等収益	27,114,939円	25,081,466円	25,507,751円	25,129,719円	23,214,252円	23,277,931円
受取配当金	27,118,390	25,083,615	25,509,135	25,131,841	23,215,184	23,278,887
受取利息	7	14	4	59	12	27
支払利息	△ 3,458	△ 2,163	△ 1,388	△ 2,181	△ 944	△ 983
(B) 有価証券売買損益	△ 9,291,125	△ 69,566,127	△ 40,782,388	△ 17,627,974	△ 61,815,983	△ 24,756,947
売買益	150,553	784,694	41,269,207	17,912,213	71,222	22,540
売買損	△ 9,441,678	△ 70,350,821	△ 486,819	△ 284,239	△ 61,887,205	△ 24,779,487
(C) 信託報酬等	△ 2,674,884	△ 2,195,353	△ 2,370,404	△ 2,443,162	△ 2,228,670	△ 2,230,491
(D) 当期損益金(A+B+C)	15,148,930	△ 46,680,014	△ 63,919,735	△ 40,314,531	△ 40,830,401	△ 3,709,507
(E) 前期繰越損益金	△1,060,648,784	△1,032,454,866	△1,071,653,525	△1,024,150,125	△ 998,843,977	△1,048,957,285
(F) 追加信託差損益金	△ 555,901,994	△ 550,214,814	△ 542,487,938	△ 542,877,091	△ 544,677,779	△ 547,625,716
(配当等相当額)	(577,069,380)	(558,535,139)	(541,434,076)	(537,584,420)	(533,012,418)	(524,555,524)
(売買損益相当額)	(△1,132,971,374)	(△1,108,749,953)	(△1,083,922,014)	(△1,080,461,511)	(△1,077,690,197)	(△1,072,181,240)
(G) 合計(D+E+F)	△1,601,401,848	△1,629,349,694	△1,550,221,728	△1,526,712,685	△1,584,352,157	△1,600,292,508
(H) 収益分配金	△ 26,878,579	△ 26,124,935	△ 25,472,712	△ 25,332,605	△ 25,192,970	△ 24,990,219
次期繰越損益金(G+H)	△1,628,280,427	△1,655,474,629	△1,575,694,440	△1,552,045,290	△1,609,545,127	△1,625,282,727
追加信託差損益金	△ 558,340,522	△ 553,453,637	△ 543,365,030	△ 544,515,825	△ 548,885,167	△ 551,568,495
(配当等相当額)	(574,630,852)	(555,296,316)	(540,556,984)	(535,945,686)	(528,805,030)	(520,612,745)
(売買損益相当額)	(△1,132,971,374)	(△1,108,749,953)	(△1,083,922,014)	(△1,080,461,511)	(△1,077,690,197)	(△1,072,181,240)
繰越損益金	△1,069,939,905	△1,102,020,992	△1,032,329,410	△1,007,529,465	△1,060,659,960	△1,073,714,232

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 84 期	第 85 期	第 86 期	第 87 期	第 88 期	第 89 期
(a) 経費控除後の配当等収益	24,440,051円	22,886,112円	24,595,620円	23,693,871円	20,985,582円	21,047,440円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	577,069,380	558,535,139	541,434,076	537,584,420	533,012,418	524,555,524
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	601,509,431	581,421,251	566,029,696	561,278,291	553,998,000	545,602,964
(f) 分配金	26,878,579	26,124,935	25,472,712	25,332,605	25,192,970	24,990,219
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	574,630,852	555,296,316	540,556,984	535,945,686	528,805,030	520,612,745
(h) 受益権総口数	3,839,797,059口	3,732,133,581口	3,638,958,884口	3,618,943,668口	3,598,995,830口	3,570,031,426口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 84 期	第 85 期	第 86 期	第 87 期	第 88 期	第 89 期
1 万 口 当 り 分 配 金	70円	70円	70円	70円	70円	70円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド
円ヘッジクラス／ノンヘッジクラス

当ファンド（ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり（毎月分配型）／為替ヘッジなし（毎月分配型））はケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド 円ヘッジクラス／ノンヘッジクラス」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。

（注）2019年12月13日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

貸借対照表

2019年2月28日

	(円)
資産	
担保付スワップ投資の評価額（簿価： 18,248,608,982円）	10,485,042,165
デリバティブ金融商品の評価額	52,057,878
未収利息	1,806,042
約定未収金	-
資産合計	10,538,906,085
負債	
デリバティブ金融商品の評価額	52,726,131
未払報酬代行会社報酬	1,806,042
未払償還金	-
負債合計	54,532,173
償却可能受益証券の保有者に帰属する純資産	10,484,373,912
帰属先別純資産：	
ノンヘッジクラス受益証券	2,622,846,528
円ヘッジクラス受益証券	4,536,630,444
通貨セレクトクラス受益証券	3,248,761,961
固定分配クラス（ノンヘッジ）受益証券	41,038,550
固定分配クラス（円ヘッジ）受益証券	35,096,429
発行済受益証券口数：	
ノンヘッジクラス受益証券	37,978,559
円ヘッジクラス受益証券	94,519,945
通貨セレクトクラス受益証券	99,403,264
固定分配クラス（ノンヘッジ）受益証券	742,575
固定分配クラス（円ヘッジ）受益証券	617,846
受益証券一口当り純資産額：	
ノンヘッジクラス受益証券	69.061
円ヘッジクラス受益証券	47.997
通貨セレクトクラス受益証券	32.683
固定分配クラス（ノンヘッジ）受益証券	55.265
固定分配クラス（円ヘッジ）受益証券	56.804

包括利益計算書

2019年2月28日に終了した年度

(円)

収益	
損益を通じて公正価値で測定される金融商品による純損益	
手数料収入	2,149,239,335
担保付スワップ投資による純損失	(882,830,010)
デリバティブ純利益	2,399,736
	<u>1,268,809,061</u>
収益合計	<u>1,268,809,061</u>
営業費用	65,280,245
営業費用合計	<u>65,280,245</u>
金融費用控除前営業利益	1,203,528,816
償還可能受益証券の保有者への分配金	(2,083,959,090)
分配金支払後の償還可能受益証券の保有者に帰属する純資産の変動	<u><u>(880,430,274)</u></u>

デリバティブ金融商品 (為替先渡契約)

決済日	契約数	受取 (評価益) (円)	支払 (評価損) (円)	(純) 評価額 (円)
2019年3月19日	6	43,474,096	(13,367,863)	30,106,233
2019年3月20日	26	8,583,782	(39,358,268)	(30,774,486)
(純) 評価額		<u>52,057,878</u>	<u>(52,726,131)</u>	<u>(668,253)</u>

<補足情報>

当ファンド（ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり（毎月分配型）／為替ヘッジなし（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2019年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第89期の決算日（2019年12月13日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄

2019年6月14日～2019年12月13日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2019年12月13日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第10期 (決算日 2019年12月9日)

(作成対象期間 2018年12月11日～2019年12月9日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

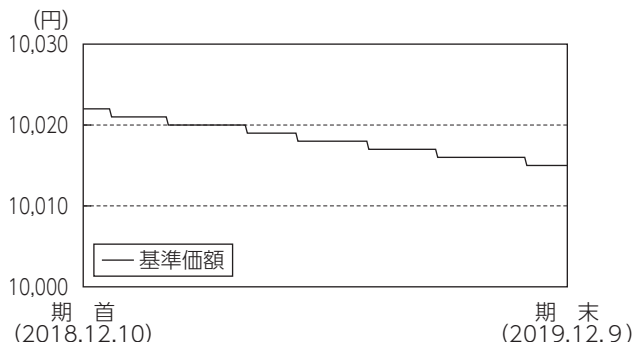
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率		
	円	%	%
(期首)2018年12月10日	10,022	-	-
12月末	10,022	0.0	-
2019年 1 月末	10,021	△0.0	-
2 月末	10,020	△0.0	-
3 月末	10,020	△0.0	-
4 月末	10,019	△0.0	-
5 月末	10,018	△0.0	-
6 月末	10,018	△0.0	-
7 月末	10,017	△0.0	-
8 月末	10,017	△0.0	-
9 月末	10,016	△0.1	-
10 月末	10,016	△0.1	-
11 月末	10,015	△0.1	-
(期末)2019年12月 9 日	10,015	△0.1	-

- (注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,022円 期末：10,015円 騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	1 (1)
合 計	1

- (注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
 (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	250,003	(250,000)

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

当		期	
買	付	売	付
銘	柄 金 額	銘	柄 金 額
	千円		千円
801	国庫短期証券 2019/3/18 250,003		

- (注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
 (注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	103,888,808	100.0
投資信託財産総額	103,888,808	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	103,888,808,252円
コール・ローン等	103,888,808,252
(B) 負債	200,442,764
未払解約金	200,000,000
その他未払費用	442,764
(C) 純資産総額(A - B)	103,688,365,488
元本	103,532,314,258
次期繰越損益金	156,051,230
(D) 受益権総口数	103,532,314,258口
1口当たり基準価額(C / D)	10,015円

* 期首における元本額は40,969,233,796円、当作成期間中における追加設定元本額は198,584,973,661円、同解約元本額は136,021,893,199円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック - 947,268円、ダイワ/ミレニアム・インド株式ファンド - インドの匠 - 29,910,270円、ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジあり) 998円、ワールド・フィンテック革命ファンド (為替ヘッジなし) 998円、新興国ソブリン・豪ドルファンド (毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジルレアルファンド (毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、U S短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/毎月決算型) 102,434円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック - (為替ヘッジあり) 39,849円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) - (為替ヘッジあり) 3,985円、iFreeレバレッジ S & P 500 995,814円、iFreeレバレッジN A S D A Q 100 29,943,109円、米国4資産リスク分散ファンド (年2回決算型) 658,945円、ダイワ上場投信-日経平均レバレッジ・インデックス3,526,781,327円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインパース・インデックス6,932,995,956円、ダイワ上場投信-T O P I Xレバレッジ (2倍) 指数1,154,855,756円、ダイワ上場投信-T O P I Xダブルインパース (-2倍) 指数1,136,478,065円、ダイワ上場投信-日経平均インパース・インデックス46,620,451,844円、ダイワ上場投信-T O P I Xインパース (-1倍) 指数10,870,537,799円、ダイワ上場投信-J P X日経400レバレッジ・インデックス413,400,603円、ダイワ上場投信-J P X日経400インパース・インデックス811,328,174円、ダイワ上場投信-J P X日経400ダブルインパース・インデックス401,731,588円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2017-06 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (為替ヘッジあり) 2016-10 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド (部分為替ヘッジあり) 2016-10 997円、先進国トータルリターン戦略ファンド (リスク抑制型/適格機関投資家専用) 6,289,387,976円、ダイワ日本株式ベア・ファンド (適格機関投資家専用) 10,596,789,950円、低リスク型アロケーションファンド (金利トレンド判断付き/適格機関投資家専用) 179,433,743円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - S L T

リード-186,241,301円、ダイワ/モルガン・スタンレー新興4カ国不動産関連ファンド-成長の橋音 (つちおと) -5,020,480円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ339,840,055円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ8,383,335円、低リスク型アロケーションファンド (適格機関投資家専用) 13,958,125,625円、通貨選択型ダイワ/ミレニアム・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 豪ドル・コース (毎月分配型) 595,106円、通貨選択型ダイワ/ミレニアム・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 987,373円、通貨選択型ダイワ/ミレニアム・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 通貨セレクト・コース (毎月分配型) 494,581円、ダイワUS短期ハイ・イールド社債ファンド (為替ヘッジあり/年1回決算型) 9,957円、ダイワ米国/バンクローン・オープン (為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国/バンクローン・オープン (為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジなし) 997円、ダイワ/ミレニアム・細細並株ファンド9,958,176円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり49,806円、<奇数月定額払出型>ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし49,806円、通貨選択型ダイワ/ミレニアム・グローバル好配当株α (毎月分配型) 米ドル・コース1,989,053円、通貨選択型ダイワ/ミレニアム・グローバル好配当株α (毎月分配型) ブラジル・リアル・コース2,978,118円、通貨選択型ダイワ/ミレニアム・グローバル好配当株α (毎月分配型) 通貨セレクト・コース1,691,241円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド (年1回決算型) - ロボテック (年1回) -100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり (毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし (毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース (毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレニアム・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド (為替ヘッジあり) 1,091,429円、ダイワ/ミレニアム・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド (為替ヘッジなし) 315,004円、ダイワ/ミレニアム・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 日本円・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース (毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- ブラジル・リアル・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 米ドル・コース (毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα (通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ-通貨セレクト・コース (毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 日本円・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 豪ドル・コース200,861円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 ブラジル・リアル・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド-イーグルアイII - 予想分配金提示型 米ドル・コース1,999,177円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース505,900円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,015円です。

■損益の状況

当期 自2018年12月11日 至2019年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 46,990,800円
受取利息	413,173
支払利息	△ 47,403,973
(B) その他費用	△ 10,190,474
(C) 当期損益金(A + B)	△ 57,181,274
(D) 前期繰越損益金	90,073,869
(E) 解約差損益金	△254,373,622
(F) 追加信託差損益金	377,532,257
(G) 合計(C + D + E + F)	156,051,230
次期繰越損益金(G)	156,051,230

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。